



第36号

令和五年三月二十日発行
松山中央高校家庭クラブ



家庭クラブ活動を通して

校長 水田 寿



今年度の家庭クラブ新聞「つばきの」の原稿を書くにあたり、改めて家庭クラブ連盟のホームページを開いてみました。そこには、家庭クラブ連盟(FHC)の紹介として、次のように書かれています。

「全国高等学校家庭クラブ連盟は、高校生全員が学ぶ家庭科の学習内容の発展としての実践的・体験的な活動のホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動を推進するための全国組織です。「高等学校家庭クラブ活動を推進し、クラブ員のホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動への研究意欲と資質の向上を図る」ことを目的として、昭和二十八年(一九五三年)に結成されました。現在では、主な活動内容として全国研究発表大会、全国指導者養成講座、機関紙「FHC」の編集、各種コンクール・コンテスト、アメリカへの留学生派遣などを実施しています。」

また、連盟の呼称である「FHC」とは、Future Homemakers of Japan の略で学校家庭クラブ活動の原点であるアメリカの家庭クラブにちなんで命名されたそうです。

さらに、学校家庭クラブ活動は、「創造」「勤労」「愛情」「奉仕」の四つの精神を活動の柱としているそうです。ホームページを開いてみると、改めて、

家庭クラブ連盟とはどういう目的で設立された組織か、どういう活動をしているのかなど、確認することができました。皆さんは家庭科の授業を通して、また、家庭クラブの活動を通して、この四つの基本精神である「創造」「勤労」「愛情」「奉仕」の心を育て、日ごろの生活の中で実践してもらいたいと思います。

昨年十二月に発行されました「松山中央高校通信」にも書きましたが、食文化・料理研究家／作曲家である中村和憲先生の講演会を聞く機会がありました。中村先生はテレビの料理番組等に出演されていますので、皆さんの中にもお顔を見たことがあるという人がいるのではないのでしょうか。

講演の内容は「松山中央高校通信」にまとめていますので、読んでみてください。

皆さんは、いずれ自立し、自分一人でありたい。食・住をまかなっていかなくてはなりません。その中でも、食事の大切さを中村先生のお話を聞いて再確認しました。皆さんには、高校在学中に家庭科の授業において、自分の体と頭をしっかりと育てるために、食事の大切さを学び、自ら調理できるように努めてもらいたいと思います。そのためにも、家庭でお母さんやお父さんと一緒に料理をするなど、料理の楽しさを経験してほしいと

思います。

高校三年間、皆さんの体と頭の成長を願って、毎日お弁当を作ってもらったことを感謝して、一人暮らしを始めたら自分で食事の準備をし、将来結婚し、子どもが産まれたら、今度は皆さんが子どものためにお弁当を作ってあげてください。こうして、家庭の味が受け継がれていくのでしょうか。

これからも家庭クラブの活動に積極的に参加して、四つの精神をさらに高め、充実した生活を送ってください。

会長挨拶

二年七組 渡部 呼愛

今年度の家庭クラブ活動も、コロナ禍ではありましたが、とても充実した活動を行うことができました。中予支部研究協議会、講習会、和光苑や乳児院へのプレゼント、三校役員交流会など、どれも学ぶことの多い活動でした。

私が家庭クラブ会長になろうと思っただきつかけは、入学してすぐの家庭科の授業で読んだ家庭クラブ新聞「つばきの」でした。一年生の時も役員として活動し、その一年間の活動を通して会長として頑張りたいという気持ちが強くなりました。そして、先生にも声をかけてもらい、会長に立候補しました。人前に出る役割に就いた経験は少なく、不安でしたが、活動を通して多くの人と交流していくうちに慣れていくことができました。

今年度を振り返ると、大変なこともありましたが、会長を務めることができてとてもよかったです。それは、しんどいと感じる以上に、多くの貴重な体験をし、学ぶことがあったからです。会長という

仕事にやりがいを感じることはできませんでした。どの活動にも共通していることは、交流の大切さです。作業だけではなく人と関わるからこそ家庭クラブの活動は成立すると私は思っています。このような活動をすることができるのは家庭クラブ活動ならではの醍醐味だと思います。少しでも興味のある人は、ぜひ来年度も参加してみてください。

一年間、会長として続けてこられたのは、支えてくださった先生や友人のおかげです。この感謝を伝えるため、私は来年度も活動に参加していきたいと思えます。

最後に、今年度も活動に協力してくださった皆さん、本当にありがとうございます。

令和四年度役員紹介



- | | | | | |
|-------|----------|-----------|----------|-----------|
| 後列右から | 監査 二俣 太一 | 監査 丸山朔太郎 | 監査 筒井 杏奈 | 監査 木本 月菜 |
| 前列右から | 書記 宮崎 里桜 | 副会長 山下 紗弥 | 会長 渡部 呼愛 | 副会長 大西 倭太 |
| | 書記 白石 迅志 | | | |



中予支部研究協議会

二年六組 山下 紗弥

今年度は大洲高等学校で中予支部研究協議会を行いました。協議会について各高校で発表し合い、充実した時間を過ごすことができました。

中央高校では古切手や書き損じはありますが、あまり集まっています。そこで、各校でどのようなものを回収しているか質問をしました。ペットボトルキャップや不要な制服、ベルマークなどを集めていることが分かり、参考にしたいと思いました。

また、コロナ禍における各校での家庭クラブ活動についても話し合いました。私は老人ホームや乳児院を訪問し、実際にたくさんの方々と交流したいと思っていますが、コロナ禍で訪問ができていません。訪問できない分、干支のマスケットや年賀状を製作したり、乳児院の運動会の飾り作りを行ったりしています。他の高校でもカレンダーやメッセージカードなどを作成していると聞き、実際に会うことはできなくても私たちにできることはたくさんあると感じました。

協議が終わった後は、バラスポーツであるポッチャを体験しました。ルールはカーリングと似ていて、目標物となるべく近くにボールを転がすというもので、最初は思った通りに転がすことができなかつたけど、回数を重ねていくうちにコツをつかんで楽しく試合をすることができました。初めて会った人とチーム

を組んでの活動で少し緊張もありましたが、一緒に試合をしていく中でコミュニケーションをとったり、喜び合ったりすることができました。障害の有無は関係なく、みんな楽しんでるスポーツを体験することができてよかったです。研究協議会に参加し、他の高校での家庭クラブ活動の内容を知り、バラスポーツを通じて交流を行うことができました。良い経験になりました。



愛媛県高等学校家庭クラブ研究発表大会

一年一組 筒井 杏奈

私は夏休みに、家庭クラブ研究発表大会に参加しました。ホームプロジェクトの発表、家庭クラブの活動発表など他の学校が行っていることについて知ることのできる良い機会でした。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、会場に行くことはできず、リモートでの参加となっていました。少し残念でしたが、他校の生徒さんの発表を聞いていると、様々な案を出し、試行錯誤しながら

活動を行っているのだと思いました。特に印象に残っているのはホームプロジェクトの発表です。私も夏休みの宿題でホームプロジェクトに取り組みましたが、何をしたらよいか分からず、ものすごく苦労しました。しかし、発表している生徒さんの行った内容は、どれも家族のことをとてもよく考えていて、環境のことについても考えられている、とても素晴らしいものでした。専門家に相談したり、調査したり、幅広いところから意見をもらいながら長い時間をかけて行っていて、自分が行ったものとはレベルが違いすぎました。とてもよい勉強になりました。

三校役員交流会

一年三組 木本 月菜

令和四年十一月十二日に松山南高校で、松山工業高校と松山南高校と一緒に家庭クラブ三校役員交流会が開催されました。交流会では各校の家庭クラブの年間の活動について報告し合い、情報交換をすることにより、今後の活動について考える良いきっかけになりました。また、今回の交流会には愛媛大学から竹下浩子先生がお越しください、消費者教育のワークショップを開いてくださいました。レゴブロックを使い、「フェアトレード」や「児童労働」などを表現して、グループで自分の意見を発表し合いま

した。ワークショップの内容は少し難しかったけど、楽しみながら参加できたので、理解が深まったと思います。私は日本に生まれたから学校へ通っているけど、もし発展途上国に生まれていたら児童労働の被害者は自分だったかもしれない。そう考えると、この問題が他人事のように思えなくなりました。今回の交流会で学んだことを生かし、今の自分にできることを探して、行動に移していきたいです。



年賀状・干支のマスコットの のプレゼント



二年二組 白石 迅志

今年度は卵のマスコット製作を行いました。初めに二年生役員でデザイン画を持ち寄り、デザイン案を決めました。普段、フェルトで作品を作る機会はなく、針を使った作業も苦手でした。しかし、役員同士で手助けし合い、フェルトの色を選んだり、縫い方や糸の種類を決めたりしながら、試作品を完成させることができました。先生のアドバイスも受け、

さらに改良を重ねて、役員みんなのアイデアが詰まったマスコットに仕上げることができました。

次は一年生の家庭クラブ委員が協力をして、フェルトを切ったり、ビーズや糸をまとめたりして、一人分ずつのキットにしてくれました。そして、一年生七十二名が丁寧に縫ってくれて、かわいいウサギの干支飾りが出来上がりました。集まったマスコットを役員で和光苑まで届けに行きました。今年もとても喜んでくださり、車いすや部屋に飾っていると聞き、頑張って作ってよかったです。

最初は不安が多かったけど、作業が進むにつれて、次第に楽しさが増してきて不安は消えていきました。実際に和光苑に完成したマスコットを持って行って、喜んでくださっているのを見て、積極的にボランティア活動に参加したいと思いました。

カーテンの洗濯・補修

一年五組 二俣 太一

僕は今年度、松山中央高校に入学して、初めて家庭クラブ役員になりました。初めは何をすればいいのかわからないで、初めは不安でしたが、先生や先輩のおかげで不安も晴れて、様々な行事や講習会に参加することができました。僕はその中で行った各クラスのカーテンの洗濯についてお伝えします。

委員会の一員となつてしばらくたつたころ、カーテンの洗濯する時期がやってきました。各教室から運ばれてくるカ

ーテンのフックを委員会のメンバーで外し、洗濯機へ入れて、これまでの生活の中でついた汚れを落としました。洗濯が終わると乾かして、外したカーテンフックを取り付け、クラスに返却しました。簡単に単純な作業ですが、清潔なカーテンで、衛生的で健康な気持ちの良い生活を送っていただけのように家庭クラブ委員で頑張りました。御協力いただいた皆さん、ありがとうございます。

子ども食堂のボランティア

二年八組 宗光 爽空

私は、この子ども食堂が初めてのボランティア活動でした。あまり料理をしたことがなく、最初は不安な気持ちでしたが、他校の高校生や大人のボランティアの方々と協力をして調理をしていくうちに、不安がなくなり、楽しく活動ができました。貴重な体験とともに、地域の方とも触れ合うことができました。とても良い経験となりました。

二年八組 山本 日向

私はボランティアに参加するのは今回が初めてで、せっかくなら意味のあるものにしたという気持ちで参加しました。アゴラのスタッフやボランティアの方々とコミュニケーションをとりながら、楽しくスムーズに作業ができました。人手が足りていないところを自主的に手伝ったり、協力したりす

ることができました。立ち仕事が続く切る作業の時は、分担しながら効率を考えて進めることができました。みんなで作ったご飯を食べ、達成感とやりがいを感じることができました。今回の経験を活かし、今後もボランティア活動に積極的に参加したいと思います。

二年八組 村上 侑夕

大量の野菜を切ったり、大量のお米をといだりしました。正直とても重くて、腕がとて疲れたけど、今までしたことのない作業が多かったので、とてもよい経験になりました。大変勉強になることが多かったです。今後も機会があれば積極的にボランティア活動に参加していきたいです。

一年九組 大野 絢華

大量のジャガイモやニンジン、大根などを洗って、皮をむいて切る作業をしました。特に大変だったのは皮をむくときです。例えば、ジャガイモの黄緑色になっているところは食中毒の原因になるソラニンがあるので、丁寧に切り落とすように言われました。アゴラのスタッフの方々は小さな子どもたちを親身になって気遣っていて、とても勉強になりました。将来のためにもいろいろなことを学ぶことができました。困ったときにはアゴラの方が助けてくださるので、料理が上手でない人にもおすすめのボランティアだと思えます。

講習会

二年一組 宮崎 里桜

今年度は、調理の講習会としてアメリカンクッキーとモンブランを企画・実施することができました。どちらの講習会も、学年関係なく仲良く、協力し合いながら作ることができました。他学年の人たちと関わる機会は限られているため、新鮮でとても楽しかったです。また、個人的には高校生になってお菓子を作る機会が減ったので、講習会でお菓子を作ることが嬉しかったし、自分の作ったことのないお菓子を作り、詳しい作り方や上手に作るためのコツなど、いろいろなことを学ぶことができたことも嬉しかったです。

今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が流行していましたが、二回も調理の講習会を行いました。また、多くの人が講習会に参加してくれ

たことがとても嬉しかったです。来年度は三年生で家庭クラブ役員になることはできないので、次は自ら進んで講習会に参加したいと思います。

スノードーム作り

一年五組 三好 風歌

自分好みにかわいく仕上げることができました。入れる液の濃度を濃いめにしたので、細かいスパンコールがゆっくりに落ちていく様子がとてもきれいで、今回も参加できてよかったです。友達と一緒に楽しく活動できました。次回の講習会も参加したいと思います。

一年四組 矢野 航汰

初めて参加したけど、とても楽しむことができました。こんなに楽しいのなら、前の講習会も参加すればよかったです。

スノードームは作るのには難しかったけど、満足するものが出来上がったので、作れてよかったです。



中央祭

二年三組 大西 倅太

今年度の中央祭では、バルーンアートの講習会を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、いろいろな制限された中で開催されたので、参加者が来てくれるか心配でしたが、当日は多くの方が参加していただき、楽しく活動することができました。

で犬やキリンなどの動物を作りました。参加してくれた人は初めてバルーンアートをする人がほとんどで、空気入れで風船を膨らませるのも大変そうでした。僕たち家庭クラブ委員も、バルーンアートをするのは初めてで、最初は風船を割ってしまったりと、風船の口を結ぶことができなかつたりと苦戦しました。しかし、たくさん練習して、なんとか作れるようになりました。当日、僕が担当していた時間には八人ほどが参加してくれて、とても忙しかったです。参加者は自分の好きな色の風船で犬などを作り、喜んでもらえてうれしかったです。練習した甲斐がありました。

家庭クラブ委員としての中央祭への参加は今年度で終わりですが、とても楽しかったです。来年は、僕が参加する側になりたいです。

月	日	活動内容
4	中旬 15 21	家庭クラブガイダンス 委員会・役員会 家庭クラブ総会
5	7~13 18~ 20・23	家庭クラブ週間 カーテンの洗濯・修繕 講習会①「アメリカンクッキー作り」ALT ジョシュア先生と一緒に
6	8 ~10	中予支部研究協議会（大洲高校） カーテンの洗濯・修繕
7	8~11 19	ペーパーホルダーの洗濯・修繕① 松山聾学校との交流会（中止）
8	4	ホームプロジェクト実施 第69回愛媛県高等学校家庭クラブ研究発表大会（リモート参加）
9	7 13 21	運動会受付接待（中止） 乳児院の運動会の飾り作り 中央祭「バルーンアート講習会」
11	上旬 上旬~ 12 30	愛媛県ホームプロジェクトコンクール応募 干支のマスコット製作の準備 三校役員交流会（松山南高校・役員） 講習会②「モンブランのジャークッキー作り」
12	中旬 17 28	干支のマスコット・年賀状制作 子ども食堂ボランティア参加① 老人ホーム「和光苑」訪問
1	21 下旬 20~31	子ども食堂ボランティア参加② 新聞「つばきの」編集開始 家庭クラブ週間②
2	3 3~6 下旬	講習会③「スノードーム作り」 ペーパーホルダーの洗濯・修繕② 新聞「つばきの」編集・校正
3	18 20	子ども食堂ボランティア参加③ 新聞「つばきの」36号発行
年間の活動		家庭クラブ委員会・役員会 書き損じハガキ・古切手・使用済みプリンタインクカートリッジの回収
今年度は「乳児院訪問」「石井児童クラブ半日ボランティア」は中止（計画なし）になりました。		

今年度の中央祭では、バルーンアートの講習会を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、いろいろな制限された中で開催されたので、参加者が来てくれるか心配でしたが、当日は多くの方が参加していただき、楽しく活動することができました。

